

1-23 各部の基本納まり図

12) 軒天部

①基本納まり

- 軒天部は外壁通気構法の「排気」を行う部位です。

軒裏、小屋裏へ排気ができるように胴縁組みをするか、通気見切縁を使用します。

- 端あき距離、先孔については、P39をご参照ください。

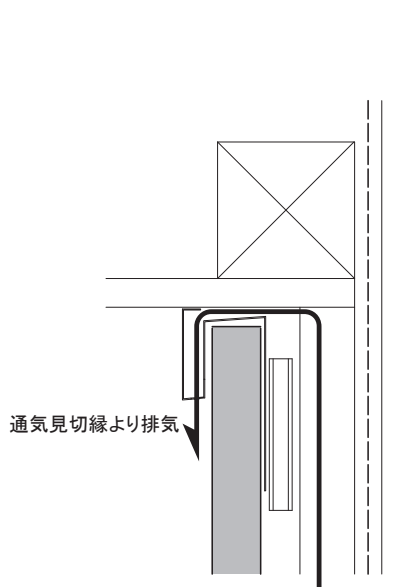
- モエンの張り終わり部で不陸が生じる場合、あらかじめ不陸に応じた厚みのスペーサーで調整してください。



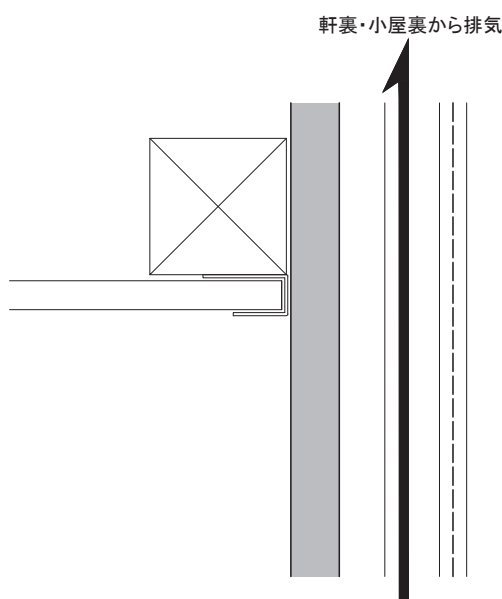
注意

- 通気見切縁は指定確認検査機関などによって、防火・準防火構造の延焼のおそれがある部分および準耐火構造の外壁に使用することが認められていない場合がありますので、指定確認検査機関などにご確認ください。

- 防耐火認定が必要な場合は、外壁と軒裏の取り合いなど、認定書別添をご確認ください。



通気見切縁を使用

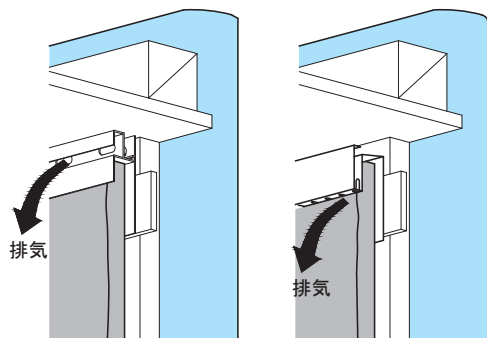


小屋裏へ通気

※この場合、外壁工事が軒天より先行しますので工程手順に注意してください。

②部材による軒天納まりの種類

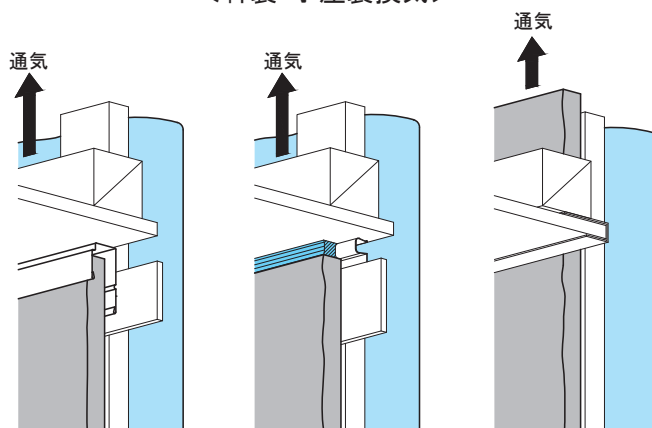
<通気見切換気>



アルミ通気見切縁

通気見切縁

<軒裏・小屋裏換気>



鋼板見切縁

片ハットジョイナー
(シーリング目地納め)天井見切縁
(現場調達品)